HIBUN

導入事例 Case Study

情報漏洩対策ソリューション **秘文**

アシスト
「お客様の最高」のために

NSK

日本精工株式会社

国内売上げNo.1、そして世界的にも屈指の規模を誇るベアリングメーカー。1960年代から早くも海外に進出し、現在では北米・欧州・アジア各地に数多くの拠点を構えるグローバル企業として、世界中で幅広くビジネスを展開中。

所 在 地：東京都品川区大崎1-6-3（日精ビル）
創　　立：1916年11月8日
資 本 金：672億円（2016年3月31日現在）
従業員数：31,587人（2016年3月31日現在）
U　R　L：https://www.jp.nsk.com/

（取材日：2016年2月）

6,000台超のPCに秘文を導入 シンクライアント専用機並みの 厳格なエンドポイントセキュリティを実現

情報セキュリティ施策の一環として、シンクライアント導入をはじめとするエンドポイントセキュリティ強化に重点的に取り組んできたNSK。その目玉とも言えるのが、「秘文」の導入でした。同社はシンクライアント専用機以外のPCすべてに秘文を導入することで、無線LANを介したインターネットへの直接接続をシャットアウトし、PC上に保存したデータの流出を確実に防止する仕組みを構築しました。

POINT

1 業務上データ持ち出しが必要なPCに対しても、シンクライアント環境並みのセキュリティレベルを確保

2 PCを社外ネットワークに接続した際、VPN利用を強制する機能が、求めていたニーズにぴったりフィット

3 エンドユーザに負担を強いることなくセキュリティレベルの底上げを実現

課　題

■10年前と比べて売り上げも2倍に増加し、グローバルにビジネス展開を行っている現在、経営基盤の整備とセキュリティレベルの底上げが必須となった
■『性善説』から『性悪説』へ考え方をシフトし、ルール設定だけではなくシステム側でも情報漏洩対策を行うことになった
■シンクライアント専用機の全台導入を目指したが、業務上データ持ち出しが必要な場合もあり、無線LAN経由の情報漏洩を防止する製品を模索していた

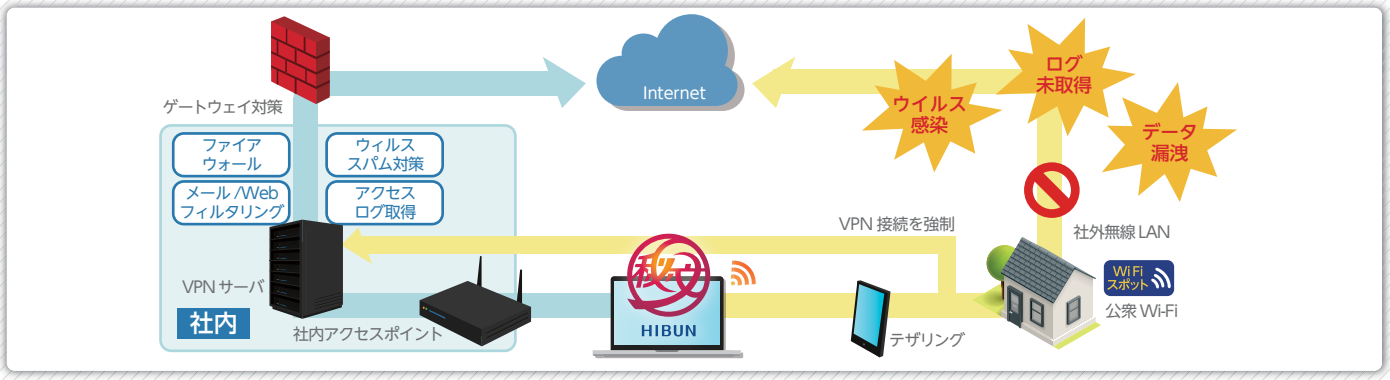
対　策

■シンクライアント専用機以外のPCに無線LAN制御機能を持つ「秘文」を全台導入し、社内利用／社外利用に関わらず、外部Wi-Fi接続時には、VPN経由でのインターネット接続のみ許可し、必ず社内と同等のセキュリティレベルが確保できるように設定を行った

効　果

■業務上データ持ち出しが必要なPCも、利便性を落とさずに、シンクライアント専用機同等の高レベルのセキュリティを確保
■海外出張先のホテルや社外業務においてPCを利用する際、必ずVPN経由でインターネット接続が行われるようになり、セキュリティリスクが大幅に低減
■ユーザが持ち込むスマートフォンのテザリングやモバイルルーターを経由したインターネット接続による不正な情報持ち出しを防止

システム概要



情報漏洩対策ソリューション 秘文

PCにローカル保存した情報の流出を如何に防ぐか

世界有数のベアリング（軸受）製品メーカーとして、また今年で創立100周年を迎える国内屈指のモノ作り企業として、世界中で幅広くビジネスを展開する日本精工株式会社（以下、NSK）。同社は現在、グローバル企業としてのさらなる飛躍を目指し、グローバル経営基盤の標準化やコンプライアンス強化に全社一丸となって取り組んでいます。

その一環として、同社は「ITの活用」および「情報セキュリティの強化」を重要な経営課題として位置付け、特に情報セキュリティに関しては、「情報セキュリティ推進室」という組織のもと、強化策への取り組みを全社的に推進しています。この組織の責任者を務める、NSK コーポレート経営本部 情報セキュリティ推進室 課長 兼 IT業務本部 IT統括部 管理グループ課長の山田学氏は、同社における情報セキュリティの取り組みは、現在大きな転換期に差し掛かっていると言います。

山田氏　弊社はかつて、セキュリティのポリシーとルールだけを定め、従業員がそれを順守すると信じる『性善説』に立ってセキュリティ対策を行ってきました。しかし、世間を大きく騒がせる情報漏洩事故がこれだけ相次ぐ中、弊社も今後は『性悪説』に基づいた厳格な管理も取り入れていくよう、方針を転換しました。

その具体的な取り組みの1つが、クライアント端末からの情報漏洩防止を目的とした「シンクライアントの導入」でした。従業員が普段利用する環境を、サーバ上のシンクライアント環境に集約し、データを一切ローカル保存できないシンクライアント専用端末を通じてデータにアクセスする仕組みを導入しました。しかしその運用には、かなりの「穴」が生じてしまったと言います。

山田氏　本当は、クライアント端末をすべてシンクライアント専用機に統一したかったのですが、顧客訪問や出張の際にどうしてもPCにデータを入れて持ち運びたいという現場のニーズが根強く、実際にはシンクライアント併用機も多く残ってしまいました。その結果、PCに保管したデータがUSBメモリやネットワークを介して流出するリスクを全面回避することはできませんでした。

無線LANの接続先を制御できる「秘文」を採用

「シンクライアント専用機並みのセキュリティレベルをPCでも何とか実現できないものか」

山田氏を中心にさまざまな方法を模索する中で、エンドポイントセキュリティ製品を導入すればUSBメモリやWebへのアップロード、印刷などを通じたデータ流出を防げることが分かりました。しかし、こうした製品をもってしても、ユーザが無線LANを通じてPCを直接インターネットに接続してしまうリスクは、どうしても排除できませんでした。

この最後の『穴』をふさぐべく試行錯誤する中で、白羽の矢が立ったのが、情報漏洩対策ソリューション「秘文」でした。

山田氏　もともとお付き合いのあったアシストさんに相談したところ、秘文が備える『無線LAN制御機能』を使えば、PCの無線LANの接続先を社内ネットワークおよびそのVPNゲートウェイだけに制限できることが分かりました。まさに私たちが求めていたニーズにぴったり当てはまる製品でした。

同社は早速、数台の端末に試験的に秘文を導入し、評価検証を行いました。その結果、同社のニーズに十分応えられる製品であると判断。2014年末より正式に秘文の導入プロジェクトをスタートさせ、2015年6月から社内にあるすべてのPC端末を対象に、段階的に導入を進めていきました。2016年2月時点でほぼすべての端末に対する導入が終わり、最終的には同社の国内拠点で利用されるPC端末6,000台以上に対して秘文が導入される予定になっています。

社外ネットワーク経由のデータ流出リスクを排除

秘文を導入したことにより、同社が管理する業務用PCの無線LANインターフェースは、社内利用／社外利用問わず、社外アクセスポイントに接続した際には、必ずVPN接続を行うように設定されました。これにより、ユーザが社内ネットワークを経由せずにインターネットに直接アクセスしてしまうリスクを完全に排除することができました。

山田氏によれば、これだけ厳格なセキュリティレベルを確保しつつ、同時に「ユーザに余分な負担を掛けない」点が秘文の大きな特徴だと言います。

山田氏　従来、社外からVPNを経由せずに直接インターネットに接続することは、社内ルールで厳密に禁止されています。従って、このルールをもともときちんと守っていた従業員にとっては、秘文導入後もPCの使い勝手は一切変わりません。このように、業務現場の生産性に一切影響を与えることなくセキュリティレベルを大きく向上できる点は、秘文の極めて優れた特徴だと思います。

山田 学 氏

また同氏は、PCを社外に持ち出す際はもちろんのこと、社内で利用する際も秘文の仕組みは極めて有効だと強調します。

山田氏　当初は社外持ち出し用PCに限定して導入しようと考えていたのですが、社内にいても公衆Wi-Fiの電波は届きますし、従業員が私物のスマートフォンやモバイルルーターを使ってPCをインターネットにつないでしまう危険性も排除できません。そうしたリスクをなくすために、社外持ち出しだけでなく、社内利用のPCに対しても一律に秘文を導入することにしました。これによって、PCを使う場所を問わず、端末経由のデータ流出リスクを排除できるようになりました。

今後は海外拠点への秘文の展開も視野に

NSKでは今後、国内で利用するPCへの秘文の適用をさらに徹底させるとともに、将来的には海外拠点への展開も視野に入れていると言います。「グローバル経営基盤の標準化」を経営方針に掲げる同社にとって、ITや情報セキュリティの仕組みを全世界で標準化することは、極めて優先度が高い取り組みだと言えます。それだけに、秘文の海外展開にチャレンジする意義は大きいと山田氏は述べます。

山田氏　海外拠点のIT担当者に秘文のことを話すと、『是非うちでも導入したい！』という反応が返ってきます。ただし秘文の導入には、ベンダーさんやSI企業さんのサポートが不可欠です。また国によっては、セキュリティ製品に対して規制が掛かることもあります。このように、秘文の海外展開にはいくつか高いハードルが存在するのですが、今後これらを乗り越えていくために、是非アシストさんには今後とも手厚いご支援をお願いできればと考えています。

お問い合わせは 株式会社アシスト　URL http://www.ashisuto.co.jp/product/category/information-disclosure/hibun/　E-Mail ssj_info@ashisuto.co.jp

東　京　〒102-8109　東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル　TEL: 03-5276-5862
札　幌　〒060-0003　札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F　TEL: 011-281-1161
仙　台　〒980-0013　仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F　TEL: 050-3816-0970
名古屋　〒460-0003　名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F　TEL: 052-232-8211
金　沢　〒920-0853　金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F　TEL: 050-3816-0972
大　阪　〒530-0011　大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F　TEL: 06-6373-7113
広　島　〒730-0011　広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F　TEL: 050-3816-0974
福　岡　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勧筑紫通ビル 9F　TEL: 092-481-7156
沖　縄　〒900-0014　那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F　TEL: 050-3816-0976